

科目名	CSU (コミュニケーションスキルアップ)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 岡田弘子
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼間部 2 1年Aクラス	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30時間 1単位	
教員の略歴	2007年度よりCSU講師 日本カウンセリング学会認定カウンセラー 心療内科非常勤カウンセラー					
授業の学習 内容	1. 社会にデビューするためのトレーニング。 仕事に必要なコミュニケーション力に磨きをかけていきます。 2. 授業でのワーク体験や教科書学習を通して、「CSU検定」合格を目指します。					
到達目標	1. 基本的なコミュニケーション力をアップ！ ⇒話をして自分のことをわかってもらう。また、話を聴いて相手のことを理解していく。 2. 自己表現力をアップ！ ⇒自分が思っていること、感じていること、考えていることをきちんと言葉にして相手に伝える。 3. チームプレイ力をアップ！ ⇒グループで協力し課題を達成する。親しくない人、苦手な人とでも一緒にやっていく。					
評価方法と基準	1)出席回数 50% 2)ワークへの取り組み姿勢 20%(不適切なスマホいじりなど、目に余るマナー違反は減点) 3)振り返り試験 30%					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)		
1	4月22日	講義 集団演習	<自己紹介ワーク>クラス仲間と交流する。「10の基本スキル」をチェックする。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。		
2	5月13日	講義 集団演習	<クラスの理解>仲間のことを知る。グループ会話を体験する。CSUアンケート			
3	5月20日	集団演習	<名画鑑賞>協同作業を体験する。作品のタイトルとイメージを発表する。			
4	5月27日	講義 個人演習	<エゴグラム>心の構造とその特徴を知る。自分の良いところを見つける。	日常の自分の行動を振り返る。		
5	6月3日	講義 集団演習	<アサーション>適切な自己主張を理解する。上手な頼み方・断り方を学ぶ。	自己表現と他者への関わりを振り返る。		
6	6月10日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義①>教科書学習。「基本的対話スキル」を学ぶ。	教科書P8～P40を予習・復習する。		
7	6月17日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義②>教科書学習。仕事に役立つ「自己表現スキル」を学ぶ。	教科書P41～P92を予習・復習する。		
8	6月24日	講義 集団演習	<CSU検定集中講義③>教科書学習。就活や仕事に必要な「社会的スキル」を学ぶ。	教科書P93～P124を予習・復習する。		
9	7月1日	講義 個人演習	<CSU検定集中講義④>教科書学習。顧客への「サービスマインド」を学ぶ。	教科書P125～P157を予習・復習する。		
10	7月8日	集団演習	<なぞの宝島>情報をまとめて課題を達成する。チームワークを体験する。	クラス仲間とコミュニケーションをとる。		
11	7月15日	集団演習	<砂漠で遭難！>コンセンサス(意見の一致・全員の合致)のとり方を体験する。			
12	9月2日	集団演習	<おもしろ村>情報をまとめて課題を達成する。チームワークを振り返り発表する。			
13	9月9日	集団演習	<パスは待ってくれない>協同作業を通して、集団でのリーダーシップ機能を学ぶ。			
14	9月16日	個人演習	<試験>CSUの振り返り CSUアンケート	前期に経験したことを思い出す。		
15	9月30日	試験	振り返り試験			
準備学習 時間外学習			様々な人と交流しながら、社会デビューに向けてのコミュニケーション力を身につける。			
【使用教科書・教材・参考書】 □ 教科書「コミュニケーションスキルアップ検定」 CSUオリジナルワークプリント						

科目名	デッサン I A	必修 選択	選択	年次	1	担当教員 横山寛多
学科・コース	クリエイティブデザイン科屋間部二 1年Aクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 2	
教員の略歴	1980年神奈川県生まれ。2003年多摩美術大学油画科卒。絵描き。					
授業の学習 内容	デッサンを通じて観察力と描写力を養う。					
到達目標	観察力を高める。客観描写の精度を上げる。作品を時間内に完成させる。					
評価方法と基準	課題ごとに講評を行う。作品の提出率、作品の完成度、習熟度、授業態度、出席率を成績評価の基準とする。					

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・実技	「この授業について」/「言葉で伝える」	鉛筆を全て削っておく
2	4月28日	実技	「キャラクターを描く/クロッキー」①	人物クロッキー
3	5月12日	実技	「キャラクターを描く/クロッキー」②	人物クロッキー
4	5月19日	実技	「背景を選ぶ/風景をスケッチする」①	風景スケッチ(屋外)
5	5月26日	実技	「背景を選ぶ/風景をスケッチする」②	風景スケッチ(屋内)
6	6月2日	実技	「構図を考える」/「カメラワーク」	構図を考えて写真撮影
7	6月16日	実技	「ラフのアイデアを複数考える」	好きな絵を集める
8	6月23日	講義	「構成について」	映画鑑賞
9	6月30日	実技	「イラスト制作」①	3色クロッキー
10	7月7日	実技	「イラスト制作」②	3色クロッキー
11	7月14日	実技	イラスト講評/加筆修正	加筆修正
12	9月1日	実技	デッサン「青年マルス」①	グレースケール制作
13	9月8日	実技	デッサン「青年マルス」②	卓上クロッキー
14	9月15日	実技	デッサン「青年マルス」③/講評	卓上クロッキー
15	9月22日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 デッサン道具一式(鉛筆5B～5H、練り消しゴム、カッターナイフ、クロッキー帳)				

科目名	日本語コミュニケーションN1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宇津木 洋子
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼間部21年Aクラス	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 1単位		
教員の略歴	日本語教育能力検定試験合格、中学校・高等学校教員専修免許取得(国語科・更新講習受講済)						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、論理性・独自性・正確性・表現力を養います。 * 授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 * 前期はプレゼンテーションができるようになることを目指します。 * 後期は日本語スピーチコンテストでの発表を目指します。						
到達目標	1. 日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 2. 日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 3. チーム制作で発表原稿を作れるようになる。 4. セルフマネジメント能力を身につける						
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義と演習	日本語プレースメントテスト	
2	5月14日	講義と演習	自己紹介①自己紹介ができる	交換日記(記入と総評黙読)□
3	5月21日	講義と演習	自己紹介②クラスメイトの名前を覚える	交換日記(記入と総評黙読)□
4	5月28日	講義と演習	日本語学習の意義①今の能力と必要な能力を知る	交換日記(記入と総評黙読)□
5	6月4日	講義と演習	日本語学習の意義②学習法を紹介する	交換日記(記入と総評黙読)□
6	6月18日	講義と演習	プレゼンへ向けて①緊張しない工夫をする	交換日記(記入と総評黙読)□
7	6月25日	講義と演習	プレゼンへ向けて②持ち時間に合わせて話す	交換日記(記入と総評黙読)□
8	7月2日	講義と演習	プレゼンに向けて③自分の意見を述べる	交換日記(記入と総評黙読)□
9	7月9日	講義と演習	プレゼンに向けて④論理的に話す	交換日記(記入と総評黙読)□
10	7月16日	講義と演習	プレゼンに向けて⑤質疑応答をする	交換日記(記入と総評黙読)□
11	9月3日	講義と演習	プレゼンテーション①グループ発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
12	9月10日	講義と演習	プレゼンテーション②グループ発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
13	9月17日	講義と演習	プレゼンテーション③個人発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
14	9月24日	試験	プレゼンテーション④個人発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読)□
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント				

科目名	日本語コミュニケーションN2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森 壮
学科・コース	クリエイティブデザイン科屋間部二1年Aクラス	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	玉川国際学院 局長						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、コンセプト(考える力)、クリエイティビティ(創る力)、プレゼンテーション(伝える力)を養います。 ※授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 ※後期は日本語スピーチコンテスト・えどがわーどでの発表を目指します。						
到達目標	①日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 ②日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 ③チーム制作で発表原稿を作れるようになる。						
評価方法と基準	1)出席率 50% ※授業態度不良の場合は出席率から減点対象とする。 2)評価点 50% ①コンセプト ②クリエイティビティ ③プレゼンテーション ※提出物を総合的に判断し、講評にて本人に通知。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月末	講義と演習	プレイメントテスト	
2	5月13日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(1)	交換日記(記入と総評黙読)
3	5月20日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(2)	交換日記(記入と総評黙読)
4	5月27日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(3)	交換日記(記入と総評黙読)
5	6月3日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(1)	交換日記(記入と総評黙読)
6	6月17日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(2)	交換日記(記入と総評黙読)
7	6月24日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(3)	交換日記(記入と総評黙読)
8	7月1日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
9	7月8日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
10	7月15日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
11	9月2日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
12	9月9日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
13	9月16日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
14	9月30日	試験	プレゼンテーション試験	交換日記(記入と総評黙読) 課題制作(試験課題は前回授業のもの)
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読) □
準備学習 時間外学習		前授業の復習および提示課題制作 □		
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント及びデータにて配布				

科目名	デザインベーシック I C	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	熊谷 哲也
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼間部二 1年Bクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 2単位		
教員の略歴	造形(デザイン)の基礎を学ぶこの授業を担当して31年目。切る、貼る、測る、塗る手作業の品質を高め、楽しく厳しく創り学んできました。						
授業の学習 内容	<ul style="list-style-type: none"> この授業は、物事を創造し表現する為に必要な基礎力(基礎デザイン力)を養う授業です。その為には「美しい表現とは何か？」を積極的に探します。 一日も休まず、遅刻せず確実に授業に出席し、継続して基礎デザインを学ぶことであなたの理解は深まります。 手仕事という大切な技術力を通じて「美しさ、丁寧さ、正確さ」の品質を高めましょう。 常に日常を観察する意識をもち、知らない事を知り、発見する楽しさを得て下さい。 						
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 美しい形、美しい色彩の効果を学び、美しい構図を創れるようにする。 課題の正しい解釈(発想や着眼点の適切な判断)をし、人に分かりやすく伝えられるようにする。 絵具(デザイナーズカラー)と色紙(トータルカラー)を用いた課題を通じて手仕事の大切さを知り、高い品質で制作できるようにする。 様々なアイデアと表現の可能性に気付けるようにする。 100%の出席率を目指し、学ぶ楽しさを確実に身につける。 						
評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> 評価点A/提出作品の品質(着眼点・色彩・形・構成・丁寧で美しい手仕事) 評価点B/授業内での積極性 評価点C/準備及び自宅学習の提出及び品質 評価点D/出席状況 以上4項目を吟味判断し評価する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義と実技1	道具の確認とカッターの使い方を学ぶ(曲線・直線の切り方)	自宅で正円のカット練習
2	5月14日	講義と実技2	絵具の使い方を学ぶ(平塗りの経験/面相筆と平筆)	平塗りの練習、正円のカット練習
3	5月21日	講義と実技3	紙とは何か? 紙を理解した後に水張りの手順を学ぶ	平塗りの練習
4	5月28日	実技4	課題1 半円を用いて色と接し、平塗りを習得する	水張りの復習(手順の整理と理解)
5	6月4日	実技5	課題1 継続	平塗りの復習(技術の理解と実践)
6	6月18日	講義と実技6	課題1 講評 課題2 幾何学図形で美しい構成を学ぶ	3種図形(○△□)の美しい設計を理解する
7	6月25日	実技7	課題2 幾何学図形の構成/確立	構成の可能性を探る
8	7月2日	実技8	課題2 幾何学図形の構成/仕上げ	作品の理解と完成
9	7月9日	講義と実技9	課題2 作品の理解と説明	作品の分析
10	7月16日	実技10	夏期課題の説明。	夏期課題の準備と実行
11	9月3日	講評	夏期課題の講評(自分の作品の到達点を判断する)	夏期課題の理解と分析
12	9月10日	実技11	課題3 短時間制作/着眼点(デザイン)の可能性	作品の分析、再制作
13	9月17日	実技12	課題4 短時間制作/発想の可能性	作品の分析、再制作
14	9月24日	実技13	課題5 短時間制作/形と色の可能性	作品の分析、再制作
15	10月1日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習		授業時間では足りない、アイデア出し・ビジュアル作成・材料購入を主に学習課題とします。		
【使用教科書・教材・参考書】 □				

科目名	日本語コミュニケーションN1	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	宇津木 洋子
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼間部21年Bクラス	授業 形態	講義演習	総時間 (単位)	30 1単位		
教員の略歴	日本語教育能力検定試験合格、中学校・高等学校教員専修免許取得(国語科・更新講習受講済)						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、論理性・独自性・正確性・表現力を養います。 * 授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 * 前期はプレゼンテーションができるようになることを目指します。 * 後期は日本語スピーチコンテストでの発表を目指します。						
到達目標	1. 日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 2. 日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 3. チーム制作で発表原稿を作れるようになる。 4. セルフマネジメント能力を身につける						
評価方法と基準	毎回の授業で出される課題(提出物、口頭発表)について、 (1)論理性 (2)独自性 (3)正確性 (4)表現力 (5)意欲 の観点から評価						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	講義と演習	日本語プレースメントテスト	
2	5月14日	講義と演習	自己紹介①自己紹介ができる	交換日記(記入と総評黙読)□
3	5月21日	講義と演習	自己紹介②クラスメイトの名前を覚える	交換日記(記入と総評黙読)□
4	5月28日	講義と演習	日本語学習の意義①今の能力と必要な能力を知る	交換日記(記入と総評黙読)□
5	6月4日	講義と演習	日本語学習の意義②学習法を紹介する	交換日記(記入と総評黙読)□
6	6月18日	講義と演習	プレゼンへ向けて①緊張しない工夫をする	交換日記(記入と総評黙読)□
7	6月25日	講義と演習	プレゼンへ向けて②持ち時間に合わせて話す	交換日記(記入と総評黙読)□
8	7月2日	講義と演習	プレゼンに向けて③自分の意見を述べる	交換日記(記入と総評黙読)□
9	7月9日	講義と演習	プレゼンに向けて④論理的に話す	交換日記(記入と総評黙読)□
10	7月16日	講義と演習	プレゼンに向けて⑤質疑応答をする	交換日記(記入と総評黙読)□
11	9月3日	講義と演習	プレゼンテーション①グループ発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
12	9月10日	講義と演習	プレゼンテーション②グループ発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
13	9月17日	講義と演習	プレゼンテーション③個人発表(準備週)	交換日記(記入と総評黙読)□
14	9月24日	試験	プレゼンテーション④個人発表(発表会)	交換日記(記入と総評黙読)□
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読)□
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント				

科目名	日本語コミュニケーションN2	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	森 壮
学科・コース	クリエイティブデザイン科屋間部二1年Bクラス	授業 形態	講義 演習	総時間 (単位)	30時間 1単位		
教員の略歴	玉川国際学院 局長						
授業の学習 内容	日本国内での就職を視野に、日本語のコミュニケーション力の向上を目指し、コンセプト(考える力)、クリエイティビティ(創る力)、プレゼンテーション(伝える力)を養います。 ※授業内で書く力を養うため、交換日記形式の記述ワークを導入します。 ※後期は日本語スピーチコンテスト・えどがわーどでの発表を目指します。						
到達目標	①日本語で自分の考えを言葉で伝えられるようになる。 ②日本語で自分の考えを文字で伝えられるようになる。 ③チーム制作で発表原稿を作れるようになる。						
評価方法と基準	1)出席率 50% ※授業態度不良の場合は出席率から減点対象とする。 2)評価点 50% ①コンセプト ②クリエイティビティ ③プレゼンテーション ※提出物を総合的に判断し、講評にて本人に通知。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月末	講義と演習	プレイメントテスト	
2	5月13日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(1)	交換日記(記入と総評黙読)
3	5月20日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(2)	交換日記(記入と総評黙読)
4	5月27日	講義と演習	自己紹介のスピーチ(3)	交換日記(記入と総評黙読)
5	6月3日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(1)	交換日記(記入と総評黙読)
6	6月17日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(2)	交換日記(記入と総評黙読)
7	6月24日	講義と演習	自分の趣味や好きなことの紹介と、それが好きな理由を伝える(3)	交換日記(記入と総評黙読)
8	7月1日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
9	7月8日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
10	7月15日	講義と演習	自分の国や出身地域の紹介をする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
11	9月2日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(1)	交換日記(記入と総評黙読)
12	9月9日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(2)	交換日記(記入と総評黙読)
13	9月16日	講義と演習	日本と自分の国のどちらに旅行に行こうか迷っている人に対して、自分の国をアピールする(3)	交換日記(記入と総評黙読)
14	9月30日	試験	プレゼンテーション試験	交換日記(記入と総評黙読) 課題制作(試験課題は前回授業のもの)
15	10月1日	講義	振り返り	交換日記(記入と総評黙読)□
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作□	
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリント及びデータにて配布				

科目名	デッサンクロッキー	必修 選択	選択	年次	2	担当教員 鈴木 弥栄子
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼二2年Aクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	90時間 3単位	
教員の略歴	東京藝術大学大学院美術研究科修士課程(油画)修了。画家。					
授業の学習 内容	デッサンで対象の観察・描写・修正という連の作業を反復することで、正確に形を捉える技術・質感描写・陰影描写・画面構成力を獲得する。また、クロッキーで人体の構造を把握しながら、限られた時間の中での集中力と表現力を鍛える。					
到達目標	基礎的な観察力、描写力を身につけることを目標とする。 各々の描画のクオリティの上げ方を模索し、ポートフォリオに入れられるレベルを目指す。部分の完璧さを求めるのではなく、時間内で全体をベストな状態まで持っていくバランスコントロール力を身につける。					
評価方法と基準	作品提出率、客観的完成度、学生各自の習熟度					

授業計画・内容						
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習	時間外学習(学習課題)	
1	4月21日	実技	ガイダンス／自画像デッサン①		1日10分のクロッキー(週5枚)	
2	4月28日	実技	自画像デッサン②		1日10分のクロッキー(週5枚)	
3	5月12日	実技	自画像デッサン③／講評／クロッキー		1日10分のクロッキー(週5枚)	
4	5月19日	実技	逆さまデッサン(写真模写)		1日10分のクロッキー(週5枚)	
5	5月26日	実技	講評／デッサン(ガラスコップ)		1日10分のクロッキー(週5枚)	
6	6月2日	実技	講評／透明化・単純化クロッキー		復習	
7	6月16日	実技	手のクロッキー／手のデッサン①		1日10分のクロッキー(週5枚)	
8	6月23日	実技	手のデッサン②／講評		1日10分のクロッキー(週5枚)	
9	6月30日	実技	足・靴のクロッキー／細密デッサン(靴)①		1日10分のクロッキー(週5枚)	
10	7月7日	実技	細密デッサン(靴)②		1日10分のクロッキー(週5枚)	
11	7月14日	実技	細密デッサン(靴)③／講評		1日10分のクロッキー(週5枚)	
12	9月1日	実技	プレ石膏デッサン①		1日10分のクロッキー(週5枚)	
13	9月8日	実技	プレ石膏デッサン②		1日10分のクロッキー(週5枚)	
14	9月15日	実技	講評／完成度を上げるorクロッキー		1日10分のクロッキー(週5枚)	
15	9月22日	試験	課題評価試験			
準備学習 時間外学習			前授業の復習および提示課題制作口			
【使用教科書・教材・参考書】 □						
プリント配布						

科目名	デッサンⅢ A	必修 選択	選択	年次	3	担当教員	小梨貞文
学科・コース	クリエイティブデザイン科昼間部二 3年Aクラス	授業 形態	実技	総時間 (単位)	60時間 2単位		
教員の略歴	イラストレーター						
授業の学習 内容	描く前に対象を落ち着いてよく見る。モチーフを写真撮影やエスキースなどをして、構図や画面構成を考える。鉛筆の技術を身につける。鉛筆の種類、芯の硬さの選び方、芯の削り具合、筆圧を変える必然性を学ばせる。正確な表現になるまで描き直す。モチーフごとの形や色の変化を意識して陰影をつけさせる。モデルを使用したクロッキー、スケッチにより人体の構造を把握する。						
到達目標	題材の位置関係・質感・固有色・陰影を、鉛筆の選択や筆圧など技法と結びつける。正確に形を捉える能力を養う。構図、画面構成の視覚的効果を実感し、納得のいく構図になるまで描き直す習慣と伝達手段として考えて描く行為を身につけさせる。陰影を単なる現象として描写するのではなく、モチーフの形や色に沿って表現する力を養う。ポートフォリオにいれることのできる完成度のあるデッサンを作成する。イラストに繋がる視覚的意図のある表現の幅を広げる。						
評価方法と基準	■評価点（課題評価）：100点満点 作品の完成度、提出率、制作態度を考慮し評価点を決定する。						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月23日	実技	静物デッサン 折り重ねた布	
2	5月14日	実技	静物デッサン 布2 ストライプ	
3	5月21日	実技	植物デッサン 樹木及び草単体	植物画2 種類制作
4	5月28日	実技	前回の続き 植物デッサン	植物画2 種類制作
5	6月4日	実技	クロッキー 学生が交代でモデル	写真使用した人体模写
6	6月18日	実技	人体クロッキー 女性モデルヌード	写真使用した人体模写
7	6月25日	実技	石膏デッサン	
8	7月2日	実技	石膏デッサン	
9	7月9日	実技	静物デッサン ビンと果実	
10	7月16日	実技	前回の続き ビンと果実	
11	9月3日	実技	クロッキー 学生が交代でモデル	クロッキーを元にした人体スケッチ
12	9月10日	実技	人体デッサン 男性モデル水着	
13	9月17日	実技	静物デッサン トウモロコシ	
14	9月24日	実技	前回の続き トウモロコシ	
15	10月1日	試験	課題評価試験	
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】 □				
プリントの配布				